全体的な計画　　清須市保育園　2025. 1

保育の理念	・子どもの最善の利益を第一に、「生きる力」の基礎を育む保育を目指す。
保育の目標	・ 自分で考え行動する子ども　・ 健康でたくましい子ども　・ 友達とよく遊び、思いやりのある子ども　・ 人の話を聞き、自分の思いが話せる子ども　・ 素直な心で受け止め、感動できる子ども
保育の方針	・ 子どもの安心、安全を基本として自ら伸びる力を大切にし、十分に自己発揮できるようにする。 ・ 乳幼児期に適した環境を整え、子ども一人一人の生活の連続性、発達の連続性を踏まえ保育内容を工夫する。 ・ 関係施設や機関と密接に連携をとり、子どもの育ちと親の子育てを総合的に支援する。 ・ 幼児期にふさわしい生活を通じて創造的な思考や主体的な生活態度の基礎を培い、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を小学校と共有する。
養護 生命の保持	・ 一人一人の子どもの平常の健康状態や発育及び発達状態を的確に把握し、異常を感じる場合は、速やかに適切に対応する。　・ 家庭との連絡を密にし、嘱託医等との連携を図りながら、子どの疾病や事故防止に関する認識を深め、健康、安全な保育環境の維持及び向上に努める。 ・ 清潔で安全な環境を整え、適切な援助や応答的な関わりを通して子どもの生理的欲求を満たしていく。また、家庭と協力しながら、子どもの発達過程等に応じた適切な生活リズムが作られていくようにする。 ・ 子どもの発達過程等に応じて、適度な運動と休息を取ることができるようにする。また、食事、排泄、衣類の着脱、身の回りを清潔にすることなどについて、子どもが意欲的に生活できるよう適切に援助する。
養護 情緒の安定	・ 一人一人の子どもの置かれている状態や発達過程などを的確に把握し、子どもの欲求を適切に満たしながら、応答的な触れ合いや言葉がけを行う。　・ 保育士等との信頼関係を基盤に、一人一人の子どもが主体的に活動し、自発性や探索意欲などを高めるとともに、自分への自信を持つことができるよう成長の過程を見守り、適切に働きかける。 ・ 一人一人の子どもの気持ちを受容し、共感しながら、子どもとの継続的な信頼関係を築いていく。　・ 一人一人の子どもの生活リズム、発達過程、保育時間などに応じて、活動内容のバランスや調和を図りながら、適切な食事や休息が取れるようにする。

幼児教育において育みたい資質・能力		乳児	1歳以上3歳未満児		3歳児以上				
		7か月から1歳未満	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		幼児期の終わりまでに育ってほしい姿
ア 豊かな体験を通して、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする「知識及び技能の基礎」 イ 気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする「思考力、判断力、表現力の基礎」 ウ 心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする「学びに向かう力、人間性等」 （これは、小学校以上、高校まで育んでいく資質・能力です。）	○ねらい・内容	○身体感覚が育ち、快適な環境に心地よさを感じる。 ○伸び伸びと体を動かし、はう、歩くなどの運動をしようとする。 ○食事、睡眠等の生活のリズムの感覚が芽生える。	○明るく伸び伸びと生活し、自分から体を動かすことを楽しむ。 ○自分の体を十分に動かし、様々な動きをしようとする。 ○健康、安全な生活に必要な習慣に気付き、自分でしてみようとする気持ちが育つ。		○明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。 ○自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。 ○健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しをもって行動する。			ア 健康な心と体
	健やかに伸び伸び育つ 健康	・ 安全な環境で快適さを感じながら過ごす。 ・ はう、立つ。歩くなど、十分に体を動かす。 ・ 保育士との安定した関係の中でミルクを飲み安心感や満足感を味わう。 ・ 離乳食を進めていく中で、様々な食べ物に慣れる。 ・ 安心して十分に眠る。 ・ オムツ替えをしてもらい、心地よさを感じる。	・ 歩く、しゃがむ、押すなど体を動かし、一人遊びや探索活動を楽しむ。 ・ 安定感をもって生活する。 ・ 様々な食品や調理形態に慣れ手づかみで食べたり、スプーン、フォークを使ったりして食べてみようとする。	・ 走る、跳ぶ、登る、押す、引っ張るなど全身を使う遊びを楽しむ。 ・ スプーン、フォークを使って自分で食べる。 ・ 食事、衣類の着脱、排泄など、保育士に援助してもらいながら自分なりにしようとする。	・ 保育士や友達との温かい触れ合いの中で十分に体を動かして遊ぶ。 ・ 和やかな雰囲気の中で保育士や友達と食べる喜びや楽しさを味わう。 ・ 生活に必要な基本的なことをやってみようとする。 ・ 保育士の言葉がけにより、危険なことや場所が分かる。	・ 積極的に戸外で体を動かして遊ぶ。 ・ 様々な食べ物への興味や関心をもつ。 ・ 生活に必要なことを自分からしようとする。 ・ 自分の体験から危険なことや場所が分かる。	・ 友達と一緒に様々な遊びの中で十分に体を動かす。 ・ 食の大切さに気付き、進んで食べる。 ・ 自分達で、生活の場を整えながら見通しをもって行動する。 ・ 安全に過ごすための決まりが分かる。	イ 自立心
	身近な人と気持ちが通じ合う 人間関係	○安心できる関係の下で、身近な人と共に過ごす喜びを感じる。 ○体の動きや表情、発声等により、保育士等と気持ちを通わせようとする。 ○身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感が芽生える。 ・ 甘えなどの依存欲求を受け止めてもらうことで、信頼感を深め情緒が安定する。 ・ あやしてもらったり、話しかけられたりする中で、喃語や声、表情などで応えようとする。 ・ 心地よい時はほほ笑み、不快なときは泣いて欲求したり、自分の気持ちを安心して表わしたりする。	○保育所での生活を楽しみ、身近な人と関わる心地よさを感じる。 ○周囲の子ども等への興味や関心が高まり、関わりをもとうとする。 ○保育所の生活の仕方に慣れ、きまりの大切さに気付く。		○保育所の生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。 ○身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫したり、協力したりして一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感を持つ。 ○社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。			カ 思考力の芽生え
		・ 保育士に欲求を受け止めてもらうことで、情緒が安定し、自分の気持ちを安心して表す。 ・ 保育士に見守られながら、身近な大人や子どもに関心を持ち、関わろうとする。	・ 自分の気持ちを安心して表すことができる。 ・ 保育士や友達と関わりながら遊ぶ楽しさを感じる。 ・ 生活に必要な簡単な決まりがあることに気付く。		・ 保育士や友達と一緒に過ごすことの喜びを味わう ・ 自分でできることは自分でする。 ・ 身近な人と関わり、友達と遊ぶことを楽しむ。 ・ 決まりや約束を守ろうとする。	・ 自分の要求をはっきりと言い、友達の考えも聞くことができる。 ・ 気の合う友達と思いを出し合って、一緒に遊びを進める。 ・ 友達とのつながりを広げ、集団で活動することを楽しむ。 ・ 決まりや約束の意味とそれを守ることの大切さが分かる。	・ 自分なりの目的をもって取り組み、達成感を味わう。 ・ 友達と一緒に喜んだり悲しんだりする。 ・ 自分の思ったことを相手に伝えたり、相手の思いや行動に気付いたりする。 ・ 友達のよさに気付き、一緒に活動する楽しさを味わう。 ・ 友達と共通の目的をもち、工夫したり協力したりしてやり遂げようとする。 ・ 身近な人や高齢者などと、触れ合い親しみをもつ。	キ 自然との関わり・生命尊重
		○身近な環境に親しみ、触れ合う中で、様々なものに興味や関心をもつ。 ○様々なものに関わる中で、発見を楽しんだり、考えたりしようとする。 ○見る、聞く、触るなどの経験を通して、感覚の働きを豊かにする。			○身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心をもつ。 ○身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。 ○身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。			ク 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
	身近なものと関わり感性が育つ 環境	・ 安全で活動しやすい環境で探索活動をする。 ・ 見る、聞く、触る、嗅ぐ、味わうなどの経験をする。 ・ 自分の物や場所が分かる。	・ 身の回りの物や動植物への興味や関心をもつ。 ・ 自分の物や人の物の区別がつく。 ・ 色や形、大小に興味を持ったり、違いに気付いたりする。 ・ 季節の行事に触れる。		・ 身近な動植物に興味や関心が広がる。 ・ 伝統的な行事や遊びに触れる。 ・ 色・数・量・形の違いに気付く。 ・ 自他、共同の物の区別に気付く。	・ 自然や身近な事象に触れ、興味や関心を深める。 ・ 伝統的な行事や遊びに親しむ。 ・ 色・数・量・形を生活や遊びの中に取り入れる。 ・ 物を大切にすることが分かる。	・ 自然事象の変化、美しさ、不思議さに感動する。 ・ 命の大切さに気付く。 ・ 異なる文化に触れ親しむ。 ・ 日常に必要な物を注意深く見たり、扱ったりして数量、図形、時刻などに関心をもつ。	ケ 言葉による伝え合い
		○言葉遊びや言葉で表現する楽しさを感じる。 ○人の言葉や話などを聞き、自分でも思ったことを伝えようとする。 ○絵本や物語等に親しむとともに、言葉のやり取りを通じて身近な人と気持ちを通わせる。			○自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。 ○人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。 ○日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、言葉に対する感覚を豊かにし、保育士等や友達と心を通わせる。			コ 豊かな感性と表現
		・ 保育士とのやり取りの中で、生活に必要な簡単な言葉や挨拶を真似る。 ・ 指差しや、喃語に応えてもらうことを楽しむ。 ・ 絵本を読んでもらうことを喜ぶ。	・ 保育士に思いを簡単な言葉で分かってもらう。 ・ 絵本や紙芝居などを見たり聞いたりして、言葉に親しむ。		・ 挨拶や生活に必要な言葉が分かり、してほしいことを言葉やしぐさで伝える。 ・ 絵本や童話などを見たり聞いたりして、その内容や面白さを楽しむ。	・ 経験したことや、思ったこと、感じたことを言葉で出し合って遊ぶ。 ・ 問いかけに対して、自分なりの言葉で返事をしたり疑問に思ったことを尋ねたりする。 ・ 絵本や童話などに親しみ、想像して楽しむ。 ・ 文字や記号に興味をもつ。	・ 人の話をよく聞き、内容を理解したり、状況に応じた適切な言葉を使ったりする。 ・ 生活に必要な文字や記号に興味をもち、使おうとする。	
		○身体の諸感覚の経験を豊かにし、様々な感覚を味わう。 ○感じたことや考えたことなどを自分なりに表現しようとする。 ○生活や遊びの様々な体験を通して、イメージや感性が豊かになる。			○いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。 ○感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 ○生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。				
	身近なものと関わり感性が育つ 表現	○身の回りのものに親しみ、様々なものに興味や関心をもつ。 ○見る、触れる、探索するなど、身近な環境に自分から関わろうとする。 ○身体の諸感覚による認識が豊かになり、表情や手足、体の動き等で表現する。 ・ 身の回りのものに興味や好奇心をもつ。 ・ 聞いたり、見たり、触ったりできる玩具などで、手や指を使って遊ぶ。 ・ 歌や音楽を聴いて、音に合わせて手足や体を動かすことを喜ぶ。	・ 砂・水等の様々な素材に触れて感触遊びを楽しむ。 ・ 様々な音、形、色、手触り、動き、味、香りなどに気付いたり、感じたりして楽しむ。 ・ 保育士と一緒に歌ったり、手遊びをしたり、リズムを感じて、体の動きを楽しむ。	・ 様々な音、形、色、手触り、動き、味、香りなどに気付いたり、感じたりして楽しむ。 ・ 友達と一緒に歌ったり手遊びをしたり、リズムに合わせて、全身を使い表現する楽しさを味わう。 ・ 見立て遊び、ごっこあそびを楽しむ。	・ 身の回りの音、形、色、手触り、動きなどに気付き、感動する。 ・ いろいろな素材パス、折り紙、粘土などを使い、表現しようとする。 ・ 自分なりに感じたこと、思ったことを表現して遊ぶ。	・ 新たな発見をし、感動する。 ・ 音楽に親しみ歌ったり、体を動かしたり、楽器を鳴らしたりすることを楽しむ。 ・ いろいろな用具やパス、折り紙、粘土などを使って、自由にかいたり、つくったりすることを楽しむ。 ・ 友達と一緒に遊びのイメージを共有しながら様々な表現遊びを楽しむ。	・ 感動したことを伝え合う楽しさを味わう。 ・ 音色の美しさやリズムを味わう。 ・ いろいろな用具や廃材などを利用して、工夫しながら、かいたり、つくったりすることを楽しむ。 ・ 友達と共通のイメージをもちながら、喜びを味わう。	
	食育	○乳幼児期に必要な元気な心と体をつくるための望ましい食習慣を身に付ける　・ 友達や保育士と一緒に楽しく食べる。　・ 食事のマナーを知る。　・なんでも食べてよく遊び、 元気な体を作る。　・ アレルギー対応をする。(個別対応・除去食・栄養士との三者面談)							

健康	身体測定　内科健診　歯科健診 フッ素塗布　アレルギー対応 歯磨きチェック　歯磨き指導　尿検査	災害への備え 安全対策 事故防止	避難訓練(火災、地震)　不審者訓練 アレルギー対応訓練　緊急時引き取り訓練　消火訓練 室内外安全点検　午睡チェック　危機管理マニュアル	子育て支援	園だより　クラスだより　献立表 保育参観　個人懇談　クラス懇談 延長保育　異年齢児保育	小・中学校との連携	保育所児童保育要録 小学校体験入学 職場体験	地域との交流	きらきらひろば　園庭開放 特別養護老人ホーム慰問(年長児) 一時保育　病後児保育	研修計画	園内研修　市内研修　市外研修 2市3町研修　研修報告会	自己評価	自己チェックリスト